

令和6年度 学校教育自己診断結果

大阪府立大阪北視覚支援学校

1 回収率について

昨年度より、実施方法を記入紙からGoogle Formでの回答に変更し、幼児及び重複児童生徒への実施を保護者保証人回答にまとめた。
今回、児童生徒で回答率が大きく低下した。特に普通科、専攻科での回答数が半減している。担任を通して提出するよう求めているが、回答が送信であるため担任で提出状況がつかめないデメリットがある。今後は一人一台端末の活用を兼ねて特別活動などでタブレットを使用したグーグルフォームの回答について行うなど対策を講じる必要がある。

児童生徒	30.3%	(昨年度 46.7%	16.4%減)
保護者	45.3%	(昨年度 49.2%	3.9%減)
教職員	92.0%	(昨年度 88.0%	4.0%増)

質問	R6肯定 (%)	R6否定	R5 肯定	R5 否定	前年 比	肯定 否定 (%)
----	-------------	------	----------	----------	---------	--------------

2 児童生徒

(1) 学校について

① 学校は楽しい。	90	10	92	8	-2	
② 先生は、わたしたちのことを大切にしてくれている。	100	0	92	8	8	
③ 学校のホームページやマチコミメールを見聞きしている。	67	33	54	46	13	

【校長コメント】 昨年大きく上昇したホームページ等の活用がさらに大きく伸びています。学校からの情報を充実させたことで生徒のホームページ利用が増えたと考えます。

(2) 勉強

① 授業はわかりやすい。	100	0	92	8	8	
② 授業を受けて、もっと勉強したいと思う。	60	40	85	15	-25	

【校長コメント】 「授業を受けてもっと勉強したいと思う」が大きく減少したことが気になります。授業改善等で児童生徒の興味を引き出す取り組みを進めてまいります。

(3) 先生について

① 先生は、話をよく聞いてくれる。	100	0	100	0	0	
② こまったときに、気軽に相談できる先生がいる。	100	0	100	0	0	
③ 先生は、やさしいことばづかいで話をしてくれる。	90	10	100	0	-10	
④ 先生は、わたしたちのことをよくわかってきている。	100	0	92	8	8	

【校長コメント】 4項目中3項目で100%と昨年に引き続き高い値です。教職員が日頃から児童生徒にやさしく、親身になって接している事が伺えます。

(4) 進路について

① 先生は、将来について考えさせてくれる。	88	12	83	17	5	
② 先生は、さまざまな進路情報を教えてくれる。	75	25	73	27	2	

【校長コメント】 昨年と大きく変わりませんが、個に応じた進路選択ができるよう進路部を中心に取り組んでいます。

質問	R6肯定 (%)	R6否定	R5 肯定	R5 否定	前年 比	肯定 否定 (%)
(5) 道徳・人権について						
① 先生は、命の大切さや社会のルールについて教えてくれる。	75	25	92	8	-17	
② 先生は、自分や友だちを大事にすることを教えてくれる。	88	12	83	17	5	
③ 先生は、緊急事態がおこった時、どうしたらよいかを教えてくれる。	90	10	92	8	-2	
④ 先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	100	0	91	9	9	

【校長コメント】 「命の大切さや社会のルールについて教えてくれる」が減少しています。授業だけでなく様々な機会を通して命の大切さ、社会のルールを子どもたちに伝えていくようにいたします。

(6) 行事について						
① 文化祭、校外学習、宿泊行事、社会見学などは楽しい。	100	0	85	15		
② ほかの学校の人たちと交流している。	71	29	69	31		

【校長コメント】 回答してくれたすべての児童生徒が学校行事を楽しんでいるのは、とてもうれしいです。生徒数が少ない中、学部間の交流や他校との交流でつながりを広げていきたいと考えています。

(7) 1人1台端末について						
① 学校は1人1台端末を効果的に活用している。	50	50	50	50		

【校長コメント】 各教員が1人1台端末の活用に取り組んでいますが、児童生徒の評価は昨年と変わりません。一人ひとりの見え方が違うため、視覚支援学校では使い方が難しいところもありますが、さらに使い方を工夫していきたいです。

3 保護者

(1) 学校全般について						
① 幼児児童生徒は、学校へ行くのを楽しみにしている。	94	6	88	12	6	
② 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。	83	17	100	0	-17	
③ 学校は、特色のある教育活動に取り組んでいる。	94	6	93	7	1	
④ 学校は、幼児児童生徒の実態に応じた教育活動に取り組んでいる。	94	6	100	0	-6	
⑤ 学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。	71	29	64	36	7	

質問	R6肯定 (%)	R6否定	R5 肯定	R5 否定	前年 比	肯定 否定 (%)
----	-------------	------	----------	----------	---------	--------------

【校長コメント】 幼児児童生徒が毎日楽しく登校ができるよう、教職員一同教育活動に取り組んでいます。保護者の皆様には日々の送り迎えやPTA活動へご協力いただきありがとうございます。

(2) 学習指導について

①	幼児児童生徒は、授業がわかりやすく楽しいといっている。	94	6	85	15	9	
②	教職員は、幼児児童生徒の学習状況や努力を適切に評価している。	100	0	100	0	0	
③	教職員は、個別の教育支援計画を保護者とともに作成している。	100	0	100	0	0	
④	教職員は、個別の指導計画を示して説明している。	100	0	100	0	0	
⑤	学校の施設・設備は学習環境面で満足できる。	53	47	44	56	9	

【保護者意見】 人事異動で専門性が継承されているのか不安があります。

【保護者意見】 視覚支援学校は専門性が必要なのではかの学校と同じような異動はよくないと思います。

【保護者意見】 校舎が古くて広すぎ、もう少しコンパクトな動線が必要です。

【校長コメント】 専門性の維持はとても重要なことです。専門性講座等を通して新転任や講師の先生方に専門性を身に付けていただくよう学校として努めています。校舎ができた昭和38年当時は今の6倍近くの児童生徒が在籍していました。現在令和10年開校を目指して知的障がい支援学校の建設が進んでいます。そのあとには本校の建て替えが行われるよう訴えていきます。

(3) 幼児児童生徒指導・理解について

①	教職員は、幼児児童生徒の障がいについてよく理解している。	95	5	100	0	-5	
②	教職員は、いじめのない学習集団づくりに取り組んでいる。	81	19	100	0	-19	
③	教職員は、すべての教育活動において、幼児児童生徒の人権を十分に尊重して指導にあたっている。	94	6	93	7	1	

【保護者意見】 生徒の障害に対する理解は先生によって違います。特に新しい先生は子どもの見え方についてしっかり理解を深めてほしい。

【校長コメント】 点字や歩行といった専門性ばかりでなく、児童生徒の見え方に対する内容も専門性講座にはふくめています。また、校長をはじめ専攻科には視覚障害のある教員がおり、本校に赴任してすぐは難しいところもありますが、数か月もしないうちに誰もが視覚障がいに対する理解を持ってくれています。また、各学部で幼児児童生徒の見え方について共通理解を図っています。

「いじめのない学習集団作りに取り組んでいる」が昨年の100%から20%近く減っています。SNSなど周囲から見えないところでの子どものつながりに対しても子どもの様子を見守りながら迅速に対処できるよう努めてまいります。

(4) 進路指導について

①	学校は、将来の進路についての希望を懇談等で聞き取り、適切な指導を行っている。	94	6	87	13	7	
---	--	----	---	----	----	---	------------------------

質問		R6肯定 (%)	R6否定	R5肯定	R5否定	前年 比	肯定 否定 (%)
②	学校は、幼児児童生徒の自立に向けて、自主性や社会性をはぐくむ教育活動を行っている。	94	6	94	6	0	

【校長コメント】 キャリアプランニング・マトリックスを活用して幼稚部から高等部普通科を卒業した後までを見通した指導ができるよう努めてまいります。

(5) 道徳・人権教育について

①	学校は、発達段階や実態に応じて、幼児児童生徒に対して、生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	94	6	94	6	0	
②	学校は、発達段階や実態に応じて、幼児児童生徒に対して、人権を尊重する意識を育てようとしている。	94	6	100	0	-6	
③	学校は、ほかの学校の幼児児童生徒たちと交流する機会を設けている。	100	0	100	0	0	
④	学校は、いじめについて幼児児童生徒が困っていることがあれば真剣に対応している。	81	19	100	0	-19	

【校長コメント】 子どもたちの人権がしっかり守られる学校づくりを今後も進めてまいります。

(6) 情報提供について

①	学校は、教育情報について提供の努力をしている。	83	17	73	27	10	
②	学校は、保護者の相談に対応できる体制を整えている。	88	12	87	13	1	
③	学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。	84	16	87	13	-3	
④	学校は、幼児児童生徒に関する個人情報を守っている。	100	0	100	0	0	
⑤	学校は、ホームページやマチコミメールを見やすいように工夫している。	94	6	80	20	14	

【保護者の意見】 ブログをもっと更新してほしい。

【保護者の意見】 学校の様子を知りたいのでよく校長ブログや学校日誌を読んでいます。

【校長コメント】 今年度より校長ブログをはじめ、幼児児童生徒の様々な活動をお知らせするようにしました。また行内でもホームページ委員会を設けてより宮氏ホームページ作りを行っています。

(7) 学校教育参画について

①	学校は、授業参観や学校行事に、保護者が参加しやすいように計画している。	94	6	100	0	-6	
②	安全に関する指導をしており、防犯教育・防災教育が行われている。	100	0	93	7	7	
③	学校ではPTA活動が活発に行われている。	94	6	93	7	1	

質問	R6肯定 (%)	R6否定	R5 肯定	R5 否定	前年 比	肯定 否定 (%)
----	-------------	------	----------	----------	---------	--------------

【保護者の意見】 校内に駐車ができないのは納得できません。

【校長コメント】 P T A活動や個別の場合は駐車を認めています。校内の安全管理のため、大勢の方が来校する行事等ではご遠慮いただいております。ご理解のほどよろしくお願いいたします。特に本校ではP T A活動に様々なアイデアをいただいて活発に行っていただいておりますことに感謝申し上げます。

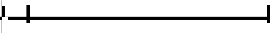
(8) 1人1台端末について

① 学校は1人1台端末を効果的に活用している。	73	27	78	22	-5	
-------------------------	----	----	----	----	----	---

【校長コメント】 一人ひとりの見え方に応じた活用を今後も進めてまいります。

4 教職員

(1) 教育活動について

① 学校の教育活動や指導の内容や方法について、幼児児童生徒の実態に合うように教職員で日常的に話し合っている。	95	5	94	6	1	
② 教育課程には、学習指導要領等の趣旨が生かされており、主体的・対話的で深い学びを教育活動に取り入れている。	93	7	92	8	1	
③ 年間指導計画の作成にあたっては、教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	88	12	89	11	-1	
④ 個別の教育支援計画・個別の指導計画は、本人・保護者のニーズを踏まえて作成し、計画・実施・評価・反省を適切に行うとともに、保護者への説明責任を果たしている。	92	8	87	13	5	
⑤ 指導にあたっては、幼児児童生徒が興味をもって主体的に取り組めるように工夫している。	94	6	93	7	1	
⑥ 学校行事が、幼児児童生徒にとって魅力あるものとなるように、工夫・改善を行っている。	94	6	88	12	6	
⑦ 生活指導において、家庭や関係諸機関と連携ができている。	92	8	94	6	-2	
⑧ 幼児児童生徒が、学級担任以外の教職員とも相談することができる、教育相談体制が整えられている。	86	14	80	20	6	
⑨ いじめや問題事象が起こったとき、迅速に対応することができる。	91	9	86	14	5	
⑩ 学校の諸活動において、安全指導が徹底しており、あらゆる場を通して防犯教育・防災教育が行われている。	79	21	84	16	-5	

質問		R6肯定 (%)	R6否定	R5 肯定	R5 否定	前年 比	肯定 否定 (%)
⑪	小・中・高等学校との校種間連携・交流の機会を設け、教育活動全般に生かしている。	76	24	71	29	5	
⑫	幼児児童生徒一人ひとりが、興味・関心、適性に応じて進路選択ができるように、きめ細かい指導を行っている。	93	7	88	12	5	
⑬	幼児児童生徒が将来の進路や生き方について、考える機会を多く設けている。	88	12	75	25	13	
⑭	教育活動において、幼児児童生徒が命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会をつくるように配慮している。	92	8	92	8	0	
⑮	体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止をはじめ、すべての教育活動において、人権尊重の姿勢に基づいた指導が行われている。	93	7	82	18	11	
⑯	学校は、授業等において、1人1台端末を効果的に活用している。	77	23	69	31	8	

【校長コメント】 教育活動に関するものでは、昨年と同じ全16項目中13項目が肯定80%以上でした。昨年70%を下回った「学校は、授業等において、1人1台端末を効果的に活用している。」は8ポイント上昇し、一昨年から25ポイント改善しています。全体的に12項目が昨年より上昇し、大きく下げた項目はありません。各教職員一人一人が教育活動をしっかり行っているという数字だと考えます。

(2) 学校運営について

①	校長は、「学校経営計画」で自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにして、学校運営にリーダーシップを発揮している。	66	34	68	32	-2	
②	学校運営に、教職員の意見や会議の内容が生かされている。	57	43	66	34	-9	
③	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	51	49	54	46	-3	
④	各分掌や各部・学年間の連携が円滑に行われ、教職員が連携して業務に取り組める体制ができています。	74	26	70	30	4	
⑤	教職員間の相互理解と、信頼関係に基づいて教育活動が行われ、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができています。	71	29	71	29	0	
⑥	校長は、業務改善と働き方改革を推進している。	59	41	57	43	2	
⑦	校舎内は清掃が行き届いている。また、施設・設備は日常的に点検や管理が行われ、整備や修繕が長期的な見通しに立って実施されている。	52	48	38	62	14	
⑧	各教科の備品や教材教具、コンピュータ等のICT機器が適切に配置され、活用されている。	81	19	74	26	7	
⑨	専門性に関することなど、計画的に教職員研修が実施され、教育実践に役立つ内容になっている。	85	15	84	16	1	
⑩	初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている。	75	25	70	30	5	

質問		R6肯定 (%)	R6否定	R5 肯定	R5 否定	前年 比	肯定 否定 (%)
⑪	幼児児童生徒の個人情報が適切に管理されている。	99	1	91	9	8	
⑫	教育活動に必要な情報について、配付プリントや学校ホームページを活用し、幼児児童生徒、保護者や地域への周知・情報発信に努めている。	95	5	95	5	0	
⑬	緊急事態に対して迅速かつ適切な対処ができるように、役割分担が明確化されている。	78	22	86	14	-8	

【校長コメント】 本校は5つの学部と寄宿舎と5つの校務分掌で運営を行っています。体系としては確立されてきましたが、その中での役割がうまく回っていないように感じます。特に人がコロコロと変わることへの不満を聞きますが、年度年度で人の動きがありやむを得ないところもあります。引継ぎをうまく行い対処していただければと思います。